



2012年度 JSID's Fellowship SHISEIDO Award(資生堂賞) 受賞者ご紹介

2012年度 JSID's Fellowship Shiseido Award 受賞者2名が決定いたしましたので、受賞者の先生をご紹介いたします(五十音順)。

本Awardの授賞式は、日本研究皮膚科学会 第37回年次学術大会・総会(2012年12月7日(金)14:45-15:00 ロワジュールホテル那覇 Room A(天妃の間))にて行います。

本研究のご成果については、2014年に開催されます日本研究皮膚科学会 第39回年次学術大会・総会にてポスター発表していただく予定です。

※2013年はInternational Investigative Dermatology(国際研究皮膚科学会)開催年のため。

ご 芳 名 : 永尾 圭介 先生 / Keisuke Nagao, M.D., Ph.D.

ご 所 属 : 慶應義塾大学医学部皮膚科学教室

/Department of Dermatology, Keio University School of Medicine

研究テーマ : 樹状細胞と毛嚢免疫を軸とした皮膚免疫の制御

/Central roles of hair follicles and Langerhans cells in regulating skin immunity.



ご 略 歴 : 1994年 3月 慶應義塾大学医学部卒業

1994年 5月 慶應義塾大学医学部研修医(皮膚科、形成外科)

1996年 6月 静岡赤十字病院(形成外科)

1997年 7月 清水市立病院(皮膚科)

2001年 7月 慶應義塾大学医学部助手(皮膚科学)

2005年 7月 米国国立衛生研究所国立癌研究所皮膚科(Dermatology Branch, NCI, NIH)に留学

2008年 7月 慶應義塾大学医学部助手(皮膚科学)

2010年 4月 慶應義塾大学医学部専任講師(学部内、皮膚科学)

2010年10月 慶應義塾大学医学部専任講師(皮膚科学)

受賞のご感想 :

この度はJSID's Fellowship Shiseido Awardを受賞させていただき、誠にありがとうございます。資生堂および選考委員の先生方に御礼申し上げます。私達のグループは主として皮膚免疫を研究しております。ランゲルハンス細胞のin vivo機能や最近新たに発見した毛嚢の免疫機能などが中心的な興味で、これらの研究はとても面白い展開を見せております。特に毛嚢は皮膚免疫の恒常維持に重要な役割を果たしていると考えており、今後大きく発展させたいと思っております。



2012年度 JSID's Fellowship SHISEIDO Award(資生堂賞) 受賞者ご紹介

ご 芳 名：峠岡 理沙 先生 / Risa Tamagawa-Mineoka, M.D., Ph.D.

ご 所 属：京都府立医科大学大学院医学研究科皮膚科学
/Department of Dermatology, Kyoto Prefectural University
of Medicine Graduate School of Medical Science

研究テーマ：血小板により誘導される炎症の制御機構の解明とそれに基づく新規
治療法の開発
/Platelet-induced regulatory mechanisms in cutaneous
inflammation.



ご 略 歴：2002年 3月 京都府立医科大学医学部卒業
2002年 4月 京都府立医科大学附属病院皮膚科研修医
2004年 4月 京都府立医科大学大学院医学研究科皮膚科学博士課程入学
2007年 6月 京都府立医科大学大学院医学研究科皮膚科学博士課程修了
2007年 7月 京都府立医科大学附属病院皮膚科医員
2007年10月 日本皮膚科学会認定皮膚科専門医取得
2008年12月 京都府立医科大学附属病院皮膚科助教
2009年 4月 日本アレルギー学会認定アレルギー専門医取得

受賞のご感想：

この度は、JSID's Fellowship資生堂賞という栄誉ある賞を賜り、大変光栄に存じます。日本研究皮膚科学会および資生堂の諸先生方、関係の皆様は厚く御礼申し上げます。

私は大学院入学後から現在まで一貫して皮膚免疫・炎症における血小板の役割に関する研究に取り組んでおり、この度この研究テーマでこのようなすばらしい賞をいただけたことを大変嬉しく思っております。この賞を頂いたことを自信にして、これからも研究に今まで以上に頑張っていきたいと強く感じております。今後ともよろしく願い申し上げます。